

開催協議会名	令和7年 第3回 川本警察署協議会		
開催日時	令和7年9月25日（木）午前10時00分から午後0時00分まで		
出席者	協議会委員	4人	
会議・協議	警察署	6人（署長、副署長、生活安全刑事課長、交通課長、警備課長、総務係長）	
	署長からの 諮詢問	諮詢事項	駐在所の今後の在り方
		説明概要	駐在所を巡る現状と課題、今後の方針
		答申(意見等)	<p>1 邑南町には最近新しい道の駅がオープンした。土日は毎週満車になっており、これに伴って犯罪も増えるのではないかと不安を感じている。住民も犯罪が増えているように感じており、不安感を持っているが、近くに駐在所があることで安心感がある。</p> <p>2 邑南町は本署から距離があり、本署へは電話もしにくい。駐在所だからこそ電話しやすいこともある。特に高齢者は、距離的に近くに駐在所があることで安心している。</p> <p>3 複数人で勤務する駐在所が設置されるなど、体制が強化されるのであれば安心する。</p> <p>4 犯罪や事故が減少していることは分かっているが、それと安心感とは違う。地域住民と打ち解けているかとか地域との関わりが大事である。それを考えれば、できれば残してもらいたい。</p> <p>5 なくなる駐在所に代わり、移動交番も一考に値するのではないか。</p> <p>6 駐在所が少なくなれば、やはり不安を感じる。美郷町には、昔はもっと多くの駐在所があり、頻繁に警察官を見かけた。だから地域の方も相談しやすかったのではないか。</p> <p>7 人数が減ると、管轄範囲が広くなり、住民一人一人と話をする時間が減ったり、パトロールの時間も少なくなるのではないか。</p>

		<p>8 複数体制になることはいいと思うが、何かあったときに相談できる方がいい。特に高齢者には広報誌などを見ない方も多いので、地域の方と接する機会を増やしてもらいたい。</p> <p>9 本署に電話をかけても顔が分からなければ電話もしにくいし、相談もしにくい。</p> <p>10 駐在さんが地域の運動会や飲み会に参加してくれるとうれしい。人数が減るとそのような地域とのつながりが減るのではないか。防犯カメラの増設やパトロールを増やすだけでなく、ソフト面の関係性が重要である。</p> <p>11 やはり身近に駐在所がなくなれば不安がある。住民から顔が見える関係が必要である。警察官にも話がしやすい人、しにくい人などいろいろな人がいる。顔が見えれば安心する。</p> <p>12 駐在所は安心のシンボルである。建物の年数だけでなく、住民の安心を考えてほしい。</p> <p>13 都会では防犯カメラも多いが、田舎ではなかなか設置されていない。警察の目で見て必要なところに防犯カメラを設置するとか、設置の助成をするなども一つの手ではないか。</p> <p>14 公民館は各地域にある。公民館に行けば警察に相談できるとか、何らかのつながりを確保してはどうか。公民館に警察署につながるテレビ電話システムを置いたらどうか。</p>
署長からの報告	報告事項	前回の諮問答申に対する当署の取組状況
	説明概要	<input type="radio"/> 免許返納者体験談の作成、活用状況 <input type="radio"/> サポカー講習の周知方策
	報告事項	管内の交通情勢、犯罪情勢
	説明概要	令和7年8月末現在における、邑智郡内、島根県内の交通事故発生状況、犯罪発生状況
視察	似顔絵作成体験	

写

真



【副会長挨拶】



【警察署長挨拶】



【交通情勢説明】



【犯罪情勢説明】



【諮問に対する答申】





【似顔絵作成体験】